

# びより とんねる日和

能代河川国道事務所  
第9号  
2019.12.17

気付けばあっという間に12月、  
少しずつ雪が積もり始める頃になりました。  
年末に向けて身の回りの整理を少しずつ始めていきたいと思います。  
それでは今日も、絶好の「とんねる日和」\_\_\_。



12月17日時点 450m  
進捗率：約39%

小繫トンネル  
全長1,153m

## 一現場視察一

11月25日(月)、二ツ井今泉道路の小繫トンネル工事現場内において、北秋田市日沿道促進期成同盟会33名の参加による現場視察が行われました。視察には、津谷北秋田市長も参加になり、実際の工事の様子などを視察し、工事の進捗状況を確認していただきました。現場では、発破を使用するため坑口に防音扉を設置し周辺への環境に配慮していること、トンネル内で使用している主要機械は排気ガスを出さない様に電気で稼働していること、などの説明を受けたほか、「トンネルを正確に掘り進めるにはどういった計測をしているのか？」などの質問も寄せられ、トンネル工事の状況を実感していただきました。



## 現場探索日記 -「インバート」って??-

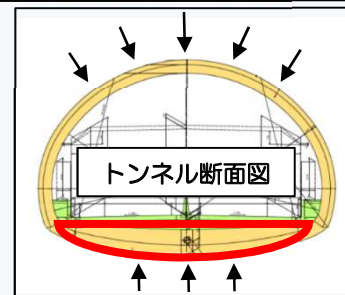
現場では丁度、インバートの施工を行っておりました。  
インバートとは、トンネルの底面を逆アーチ型に掘り、コンクリートで固めた覆工部分のことです。

トンネルは通常、外からの圧力に耐える様、半円形の形をしています。しかし、地盤が弱い箇所では下側底から押し上げる圧力を受けるため、それに耐える様、底面にも逆アーチ型のコンクリート壁を作る必要があります。それがインバートになります。

トンネルが出来上がると、路面の下で見えなくなりますが、変形しない安全なトンネルを作るために色々工夫しているのですね。



インバート施工の様子



トンネル断面図

## 一編集後記一

今号は、現場視察、現場探索日記としてインバート施工について取り上げました。インバートについては知らなかった方も多いのでは?!半円形に掘っていると思いきや、なんと下もアーチ型になっていたなんて…知りませんでした…。

今年の7月からとんねる日和を発刊し、今号でもう9号目となりました。日々トンネルに触れた、学びの楽しい1年となりました。来年もよろしくお願い致しますm(\_)\_m  
少しはやいですが…それでは来年も、トンネル日和♪



現在までのトンネル工事等  
への延べ見学者数です。